



# News Release

2012年10月11日よりBSA(ビジネス ソフトウェア アライアンス)は、BSA | The Software Alliance(BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)に改称いたしました。

2012年11月21日

<報道関係各位>

BSA | The Software Alliance

本ニュースリリースは2012年11月14日(現地時間)に米国発表の翻訳版です。

## BSA、メキシコ経済省に対し政府機関として 世界で初めて企業向けソフトウェア資産管理を認証

【2012年11月14日(現地時間)－米国ワシントンDC発】

BSA | The Software Alliance(BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス、以下BSA)は本日、BSAが提供する企業向けソフトウェア資産管理(Software Asset Management: 以下SAM)プログラム「CSS(O)」(Certified in Standards-Based SAM for Organizations)の認証を、メキシコ経済省が政府機関として世界で初めて取得したと発表しました。

CSS(O)認証の取得は、メキシコ政府がソフトウェアの適正利用を実践していることに加え、国際基準に準拠したソフトウェアライセンスのコンプライアンスを維持していることを証明しています。

BSAの法務顧問兼海賊版対策担当バイスプレジデントであるジョディー L. ケリーは、「1年前にインドで始動させたこのCSS(O)プログラムにとって、今回メキシコ経済省が認証を取得したことは大変画期的な出来事であり、嬉しい限りです」と述べています。更に、「同省は、確固たる知的財産権保護の姿勢が自国の経済成長を牽引することを理解し、国際基準のSAMの慣行を採用することで、国内の政府機関や民間企業に対してだけでなく、世界に対してその揺るぎない姿勢を示しました。是非、他国の政府機関も、メキシコに続いて欲しいと思います」と付け加えています。

BSAが提供するCSS(O)プログラムは、国際標準化機構(ISO)に準拠する初めてかつ唯一であるエンタープライズレベルのSAMとして、組織におけるソフトウェアのライセンス契約に加え、経営管理およびその手順がISOに準拠していることを確認可能とするものです。このプログラムを導入することによって、組織内における不正なソフトウェアの運用よって起こり得る法的およびセキュリティ上のリスク削減を達成します。また、業務において最適かつ最新のソフトウェアを使用することによって、その運用効率を向上するとともに、組織内のソフトウェアライセンスの過不足を無くすことで、コスト削減を計ることも可能となります。

ブルーノ フェラーリ メキシコ経済大臣は、CSS(O)認証を得たことに対し、感謝と満足の気持ちを示すとともに、国際的に認められたSAMの最良慣行の採用決定は、知的財産の尊重を支持するメキシコ政府の政策を反映するものであると説明したうえで、メキシコ政府が、その運営において決して海賊行為を発生させない手本を示さねばならないと強調しました。BSAはDeloitte Mexico(デロイトメキシコ社)による調査を経て、同省内の連邦競争委員会、連邦規制改善委員会、連邦消費者法務局、メキシコ貿易投資促進機関に対しても認証しました。

CSS(O)プログラムの詳細については、[www.bsa.org/CSSO](http://www.bsa.org/CSSO) をご覧ください。

また、BSA は、2012 年 8 月、日本政府の IT マネジメントについての提言『政府の IT マネジメントに関する提言 ～ソフトウェア資産管理の観点から～』を発表しました。提言は、日本政府の IT マネジメントのあり方を IT 資産管理の観点から考察したもので、「保有する IT 資産の全体を的確に把握すること」こそが、効果的なマネジメントにつながると指摘しています。

- 提言 1: 政府が保有する IT 資産の見える化
- 提言 2: 政府 CIO によるマネジメントの強化

提言に関する情報は、下記よりご覧いただけます。

プレスリリース: <http://www.bsa.or.jp/press/release/2012/0809.html>

提言本文: <http://www.bsa.or.jp/file/policyrecommendation120809.pdf>

#### ◆BSA | The Software Alliance について

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)は、世界のソフトウェア産業を代表する業界団体です。70 社を超える BSA 加盟企業は、経済の活性化とより良い現代社会を築くためのソフトウェア・ソリューションの創造に年間数十億ドルもの投資を行っています。世界各国の政府との意見交換、著作権をはじめとする知的財産権の保護ならびに教育啓発活動を通じて、BSA はデジタル社会の拡大とそれを推進する新たなテクノロジーへの信頼の構築に努めています。

BSA のメンバーには、アドビ システムズ、アジレント・テクノロジー、アンシス、アップル、Aquafold、ARM、オートデスク、ベントレー・システムズ、CNC Software-Mastercam、ダッソー・システムズ・ソリッドワークス・コーポレーション、メンター・グラフィックス、マイクロソフト、Minitab、オラクル・コーポレーション、オルボテック、ピツニーボウズ、プログレスソフトウェア、PTC、クエスト・ソフトウェア、ロゼッタストーン、シーメンス PLM ソフトウェア、サイベース、シマンテック、テクラおよび The MathWorks が加盟し、活動を行っています。詳しくは、日本の BSA ウェブサイト([www.bsa.or.jp](http://www.bsa.or.jp))、または、BSA 本部(米国、英語)のウェブサイト([www.bsa.org/country.aspx](http://www.bsa.org/country.aspx))をご覧ください。

#### 【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

BSA 日本 PR 事務局(MSL JAPAN 内) 担当: 西田、竹内

TEL: 03-5719-8917 Email: [bsa.jp@msl-japan.com](mailto:bsa.jp@msl-japan.com)